

クリスマス礼拝2022

12月20日(火) 10:00から遺愛女子中学校高等学校クリスマス礼拝が遺愛アリーナで行われました。コロナ3年目を迎えましたが、私たちの救い主イエス・キリストの御誕生をお祝いするクリスマス礼拝はコロナ禍でも中止することなく守ってきました。讃美歌を1節だけ賛美する、学年の歌はカットする、メッセージも短くするなどの工夫をこらしつつ行ってきました。音楽科の先生方が、細心の注意を払いながら練習を積み重ね、今年も本番を迎えることができました。

ハンドベルの演奏で始まり、祈祷、聖歌隊の合唱、クリスマスの聖書箇所朗読、讃美歌、キャンドルサービス、クリスマスメッセージ、献金、ハレルヤコーラスを全員で歌い、百武先生の祝祷で閉じました。参加者は、生徒・教職員以外は中3と高3の保護者に限定させていただきました。ハレルヤはアリーナ全体に美しく響き渡り、特に高校3年生にとっては一生の思い出になったのではないかと思います。

クリスマスメッセージは、『光は闇の中に輝く』と題してお話しさせていただきました。12月9日に私の母が95歳で昇天したばかりでした。コロナ禍で満足な葬儀も行えなかったため、母の歩みを少しだけ紹介させていただきました。昭和の敗戦のなかでソ連の侵略から命辛々大陸から長崎に引き揚げ、若くして両親を亡くし、孤独の闇の中で自死の誘惑もありました。しかしその闇の中でキリストの光を見だし、牧師の妻として隣人のために生きぬいた生涯でした。

2022年は2月末にロシアの突然のウクライナ侵攻により、国際社会は政治的にも経済的にも混乱してきています。さらに2023年にはその影響が深刻になってくることが予想されます。そのなかにあっても光を見出し、主に信頼して歩んでいきたいと願っています。

2022年12月21日(水)

